

# 令和3年度横浜市幼保小連携推進地区事業 東地区 活動報告

テーマ 子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の連携  
～遊びから学びへのスムーズな接続～

## 推進テーマ 子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の連携 ～遊びから学びへのスムーズな接続～

### 【東地区の様子】

- ・東小学校に入学してくる約9割が隣接の中区の幼稚園からの進学である。
- ・東地区交流園からは毎年2～4名程度入学する。
- ・東小学校の幼保小の交流は、3つの園（西区1園・中区2園）を中心にしてきている。

### 【テーマ設定の理由】

遊びを通して学んでいく幼稚園と小学校低学年は、子ども観や教育観を共通理解していく必要がある。しかしながら小学校では6歳から12歳までの幅広い年齢層が学習しており、型にはめた学習になりがちである。

そこで、初年度は子ども観や教育観を教職員が共通理解し、子ども同士、教職員同士顔の見える交流を目指すこととした。

## 推進計画

月	園・校名	人数	園・校名	人数
	東小学校	50名	霞ヶ丘幼稚園	29名
	野毛山幼稚園	49名	聖母幼稚園	54名
月	行事・活動等		内容	
4				
5				
6	第1回担当者会（西前小学校） あさがおの苗のプレゼント		今年度の交流計画についての意見交換 現1年生についての情報交換	
7	幼稚園・保育園・小学校教育連携研修会（ウイング横浜）		授業参観と研修 実践校の発表による研修	
8	全体研修会（東小学校）⇒中止		講演会	
9	アズリンピック招待状配付⇒中止 （霞ヶ丘幼稚園、野毛山幼稚園、聖母幼稚園）		招待状配付 各幼稚園での交流	
10	東小学校アズリンピックへの園児参加⇒中止 生活科でのなかよし交流会の招待状配付⇒中止		かけっこへの参加 参加賞の配付	
11	小学校授業参観⇒中止 生活科でのなかよし交流会・東っ子スタディに園児招待 （1年生と霞ヶ丘幼稚園・聖母幼稚園・野毛山幼稚園園児）⇒中止		学校探検、秋を感じる遊び・「くじらぐも」音読劇等を通じた交流	
12	東っ子スタディに園児招待、体験⇒中止		東っ子スタディ見学、体験	
1	秋を感じる遊びでつくったものをプレゼント 第2回担当者会		ブロック交流活動の振り返り	
2	学校・学区紹介のDVDをプレゼント			
3				

## あさがおの苗をプレゼント

あさがおの芽が、たくさん出たので、幼稚園の友達にプレゼントすることにしました。せっくなので、牛乳パックに飾り付けをして、手渡しに行きました。



あさがおのなえが  
たくさんできた！  
ようちえんのともだちに  
プレゼントしよう！



たいせつにそだててね。  
お水をあげてね。

## おへんじがきた！

あさがおのプレゼントの返事がきたので、交流する意欲が高まってきました。そこで、アズリンピックに招待することにしました。



こんなに大きくなったよ！  
ありがとう！

たいせつにそだててくれたんだね。

アズリンピックにしようたいしよう！



## アズリンピックにしようたいしよう

ダンスや玉入れをみてほしいな！

かけっこにも出てほしい！

これなくなったのなら、  
ダンスをろくがして、みてもらおう！

交流の意欲が高まってきましたのですが、コロナ感染拡大でできなくなってしまったので、ダンスの様子を録画して、見てもらうことにしました。



## あきあそびをいっしょにしよう

秋を見つけに、野毛山公園に行きました。すぐ先は、野毛山幼稚園です。「幼稚園の友達はどうしているかな。」「交流にいきたいね。」子どもたちの気持ちは高まっていますが、なかなか交流できません。「作ったおもちゃをプレゼントしたらいいんじゃない？」という意見が出てきたので、たくさん作って、デコレーションした箱に入れてプレゼントすることにしました。



このちかくに  
のげ山ようちえんが  
あるね。  
どうしているかな。



いろいろなおもちゃができた！  
ようちえんのともだちといっしょにあそぼう！



## あきあそびでつくったものを プレゼントしよう



ようちえんにいけない...  
プレゼントボックスに  
つくったおもちゃを入れて  
もっていこう！

## 学校のことをつたえよう

「去年、交流できなかったから幼稚園にビデオレターがきたよ。」「学校のことをビデオレターにしたい。」  
学校のいろいろな教室のこと、通学路のこと、作ったおもちゃのこと、学校の勉強のことを伝えるために、たくさん練習して動画撮影を始めました。でき上がったら、幼稚園に届けに行きます。

ようちえんのともだちがきたら、いろいろなへやをあんないしたいな。



ようちえんのともだちがこられないなら、ビデオレターにしよう！



## 今年度を振り返って

1年間を振り返って

コロナ禍の下、直接の交流は少なかったのですが、双方向の交流ができたことが1年生にとっては大切な経験となりました。本年、計画して実施できなかった保育参観や授業参観、講演会などの実施により、教職員の交流が深まり、学びの連続性が確かなものになるよう今後の活動を計画していきたいと思います。

### ▶ 子どもたちの成果と課題

- ▶ ・子どもたちは、あさがおを届けたり、お返事をもらったりして、交流することができた。
- ▶ ・会って話すことができ、また会いたいという意欲が生まれた。
- ▶ ・後半、直接会うことができなかったため、もうすぐ1年生、もうすぐ2年生という自覚が育ちにくい面もあった。

### ▶ 教職員の成果と課題

- ▶ ・年長の担任、1年生の担任は担当者会などを通して交流でき、子どもについて情報交換ができた。
- ▶ ・コロナ禍で、予定していた講演会や授業参観、保育参観が中止となり、担当以外の教職員の研修が進まなかった。